

廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課浄化槽推進室

1. 事業の必要性・概要

被災地に導入されている浄化槽について、資源の有効利用の観点から再使用や再資源化に関する技術的検討を行うとともに、今回の震災での破損状況を踏まえ、地震・津波等の災害に耐えうる浄化槽について、技術的観点からの調査を行う。

2. 事業計画（業務内容）

被災地で使用されなくなった浄化槽を再使用又は再資源化を実施するにあたり、技術的な問題点や可能性について、文献調査やヒアリング等を行うことにより整理を行う。また、今回の震災での浄化槽の破損状況を取りまとめ、強度等に関する技術的な問題点や新たな技術導入の可能性について、現地ヒアリング等も含めた整理を行う。

3. 施策の効果

使用済みの浄化槽の有効利用が促進されることにより、廃棄物発生量が削減される。また、地震・津波等の災害に耐えることができる浄化槽を開発するための技術的助言を行う。

浄化槽の有効利用・技術開発の調査検討

現状

被災地に導入されている浄化槽

既存浄化槽(被災)

修理又は廃棄

仮設住宅に設置の浄化槽

ほとんど廃棄

検討の方向性

再使用・再資源化に関する調査検討

文献調査・ヒアリング等に加え、再使用に関する技術的な問題点やニーズについて整理

地震・津波等の災害に耐えうる浄化槽について、技術的な調査

震災での破損状況の取りまとめ、強度等に関する技術的な問題や新技術導入の可能性について、現地ヒアリング等も含め整理

効果・目標

使用済み浄化槽の有効利用を促進し、廃棄物量を削減する。
地震・津波等の災害に強い浄化槽開発のための技術的助言を行う。

